



平成20年度の「さわやか詩集」には、小中学校あわせて1,405編の応募があり、昨年10月2日の審査会（菅野昌和審査委員長）で入賞者90編が選ばれました。  
 今回は「大滝清雄賞」と「さわやか大賞」に輝いた受賞作品を紹介します。ぜひご一読ください。  
 なお、詩集は町図書館の「さわやか詩集」コーナーにあります。こちらもどうぞ、ご覧ください。

**「さわやか詩集」について**  
 「さわやか詩集」は、平成元年の町図書館開館当時から当町出身の詩人（故）大滝清雄さんの功績をたたえとともに、図書館の「大滝清雄文庫」の開庫を記念して毎年詩を募集し、優秀作品の表彰と詩集の発行を行っているものです。

平成20年度さわやか詩集入賞者 (敬称略)

題名	学校・学年	氏名
●大滝清雄賞		
ほうせきばこ	矢吹小2年	山本彩生
言葉の大切さ	矢吹中3年	佐久間友郁
●さわやか大賞		
線香花火	善郷小6年	関根菜々美
ひまわり	矢吹中2年	高久遥香
●さわやか賞		
あさがお	中畑小1年	窪木愛
ひまわりの花	中畑小2年	五十嵐美紀
はたらきもののおかあさん	中畑小3年	菅野真純
ぼくのおばあちゃん	善郷小4年	加藤悠希人
天国のおじいちゃん	矢吹小5年	佐藤里瑳
げんこうようし	中畑小6年	松谷杏香
私の宝物	矢吹中1年	曲山梨花
地球温暖化	矢吹中2年	泉川さくら
のんびり	矢吹中3年	加藤祐也

町教育委員会主催の「平成20年度さわやか詩集表彰式」が1月18日、町文化センター大ホールで開催され、入賞者への表彰と入賞作品の朗読発表が行われました。  
 表彰式では、受賞者に賞状と記念品が贈られ、入賞がたたえられた後、菅野昌和審査委員長による選評があり、各作品が紹介されました。  
 その後、入賞者自らによる作品の朗読発表が行われました。  
 また、引き続き開催された「ポエムコンサート」では、光南高校テクノアートシンセサイザー部による演奏が行われ、「明日に架ける橋」や「翼をください」などが幻想的な音色で演奏され、表彰式に華を添えました。

平成20年度「さわやか詩集」ができました。

大滝清雄賞

「ほうせきばこ」



山本 彩生さん (矢吹小2年)

おばあちゃんのはたけは  
 ほうせきばこみたい  
 いろいろなやさいがきれいな色に

ピカピカ光っているから  
 はたけに行くよ  
 赤や黄色みどりにむらさき  
 どのやさいもお日さまにてらされて  
 すぐきれいな  
 おばあちゃんはいつもおいしくな  
 れて  
 言ってるんだよね  
 また はたけのほうせきばこ見に  
 行きたいな

さわやか大賞

「線香花火」



関根菜々美さん (善郷小6年)

大きい打ち上げ花火は  
 見る人の視線をかえる  
 それに比べて小さくて  
 地味な線香花火は

使ってる人や周りの人しか  
 見えない  
 でも そんな線香花火が好き  
 終わるまでしつかり火花を  
 ちらして  
 いつ終わるか分からない  
 一度空が上がったら  
 すぐ終わってしまう打ち上げ花火は  
 どんなに目立っていても  
 やっぱり最初から地面の近くで  
 燃えていて最後に地面におちる  
 線香花火が好き

大滝清雄賞

「言葉の大切さ」



佐久間友郁さん (矢吹中3年)

「ありがとう」って言葉  
 なんてこんなに温かいんだらう  
 なんてこんなにうれしいんだら  
 う

「ごめん」って言葉  
 なんてこんなに切ないんだらう  
 なんてこんなにうれしいんだらう  
 言葉にはいろいろな意味がこもつて  
 いる  
 人は人の言葉で動かされる  
 たった一言で喜んだり悲しんだり  
 言葉は私達にとって  
 かけがえない大切な宝物なんだ  
 神様にももらった素敵な言葉・・・  
 いつまでもみんなにプレゼントして  
 いこう

さわやか大賞

「ひまわり」



高久 遥香さん (矢吹中2年)

ひまわりは私の好きな花だ  
 ひまわりをみていると  
 なんだか元気になる  
 なぜだらう

それはきっとひまわりが  
 太陽の光をあびて  
 大きな花を咲かせるからだらう  
 私はその勇ましく堂々とした姿に  
 元気をもらう気がする  
 ひまわりはどんな花よりも大きい  
 いや大きくみえる  
 だから私はひまわりのように  
 大きく堂々と胸を張れる人  
 何ごとにも前向きな明るい人  
 そんな人になりたい